

私が、私らしく生きるための、私の設計図

ダル曼茶羅

マン ダ ラ

「人生の旅路の終わり」
その日は、必ず、私たちにやってきます。

あなたが、ご自身の生涯を終えた時、家族に、知人に、友人に、
あなたは、どの様に評されたいですか？

「誠実な人だった」、「自分勝手な人だった」、「人間味溢れる温かい人だった」、
「人を騙しても何とも思わない人だった」…

もし、あなたが「あの人は、○○○人だったね…」と評されたいと願うのであれば、
その生き方こそ、「貴方の生きる指針=人生の羅針盤」と言えるのではないのでしょうか。

今、あなたが「○○を達成したい!」と願うことがあるのであれば、
ご自身に問いかけてみて下さい。

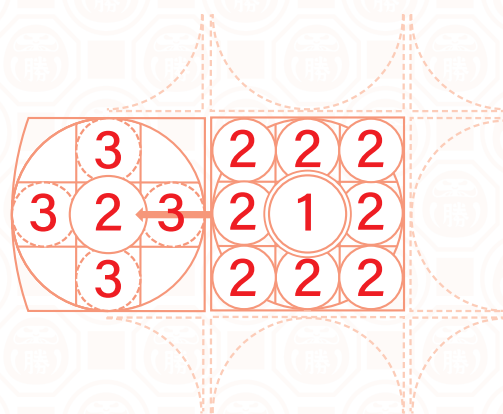
「この願いの先には、自分の目指すべき人生があるのか？」
もし「ある!」と言い切れないのであれば、その願意は考え直した方が良いのかも
知れません。

“平凡な毎日”の積み重ねが“あなたの人生”ではありません。
“あなたの人生”は、この“掛け替えのない貴重な1日”の集合体なのです。

だからこそ、たった一日であっても、決して無駄に生きてはならないのです。

ダル曼茶羅の中央に、「あなたの生きる指針」を書いて下さい。
その指針を中心とし、その四方八方に、その生きる指針を形づくる構成要素を書き記し
して下さい。
さらに、その構成要素を構成する“要素”を書き記して下さい。

使用方法



その1 「ご自身の人生の指針=生き方」を①に書きましょう。

その2 「①を実現するための必要構成要素=目標」を②に書きましょう。

その3 「②を実現するための必要構成要素=日々、実践すべきこと」を③に書きましょう。

その4 ③を毎日、本気で実践して下さい。

